

令和4年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校（定時制） 【自己評価及び学校関係者評価】

《 4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する 》

教育目標								
1, 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2, 校訓「正義」「寛容」「実行」を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。								
重点目標	評価項目	計画(Plan)	実行(Do)	評価(Check)		改善(Action)	学校関係者評価	
		重点努力目標（評価指標）	方策・手立て（数値目標）	学校自己評価	総合	結果と考察・改善	評価 評価コメント (評価できる点、改善して欲しい点)	
基礎学力の定着	基礎・基本の定着	①「面白くて生徒がためになると感じる授業」を創造する。	・授業参観週間の計画運営と職員研修(ICT活用含む)の充実を図る。 ・基礎学力テストを計画的に実施し、生徒の実態を把握するとともに、指導の指針を共有する。 ・ICT教材の活用により、効率的で五感にうったえる授業を実践する。	3.3	3.2	・基礎学力テストは実施から成績処理、成績上位者の表彰までを計画的に行い、生徒の実態把握にもつながった。授業参観週間は3年ぶりに実施できた。14名の保護者等の参加者があった。日常の授業については、各教科ともにICTを使って内容を工夫している。さらに深化を図りたい。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> さらなる充実を図るように期待します。 日中仕事に励み、仕事後に頑張って勉強する生徒は、必ずいろんな場面で信頼される人になると思います。 夕方からの授業で少々疲れもある中で、皆さんが学業に取り組む姿に感動しました。 授業見学の時に授業の様子を見ましたが、和気藹々としていて、とても良い雰囲気だと思いました。
		②個別指導の充実を図る。	・考査前指導を年4回計画し実施する。 ・夏季講座として全職員が一人1講座を開設し、生徒の意欲喚起と学力の定着を図る。 ・奨学金等の情報提供を確実に行う。	3.2		・考査前指導は適切に運営できた。また感染症の影響で出席できなかった生徒に対しての補充指導も合わせて実施した。夏季講座は台風の影響で実施できない日もあったが、生徒は熱心に取り組んだ。来年度も状況に応じて適宜実施したい。 ・学生支援機構予約奨学金等の情報提供や推薦事務を適切に行った。		
		③修学意欲の高揚を図る。 ・欠席・遅刻等の防止 ・欠点者の減少 ・単位の確実な修得	・新入生在校生オリエンテーションを計画し、スムーズな年度のスタートを支援する。 ・考査前指導を年4回計画し実施する。 ・学業に関する集会を実施して現状を生徒に伝え、今後の見通しを立てるとともにテスト後の指導の充実を図る。 ・単位未修得を防ぐための考査後指導を充実させる。 ・定通併修生への履修説明会を実施する。	3.2		・オリエンテーションにおいて単位の履修修得についての説明を行い、学習計画の充実を図った。 ・個別指導や学習に関する集会を通して各自の現状を確認させることで、学習意欲の喚起につなげることができた。今後も計画的に実施していきたい。 ・定通併修生に対しては、宮崎東通信制と連携して情報提供や連絡指導を確実に行った。		
		④検定指導の充実を図る。	・商業科全学年全生徒に、最低年1回の検定受験を推進し、これを基に学業に対する向上心を育てる。 ・普通科・商業科の生徒に対して検定試験の案内を行い、受験生に対しては課外等を実施して指導する。	3.2		・商業科全学年生徒の受験があり、ほとんどの生徒が合格することができた。また、授業で行っていない検定試験にも3名の生徒が受験があるなど意欲的に取り組めた。 ・商業科以外の生徒にも、積極的に検定試験の案内を行った。最終的に普通科生徒の受験には至らなかったが、数名が興味を持ってくれており、次年度は受験へ期待ができそうである。		
人権感覚・豊かな心の育成	規範意識の向上と生徒指導	①職員の共通理解と共通実践を図る。	・生徒情報交換会を開き、生徒一人一人について職員間で共通理解を図り、全職員で生徒指導にあたる。 ・学年会を週1回の定例会とし、情報共有と職員間の連携を図る。	3.2	3.1	・生徒情報交換会により全職員で情報を共有できた。日常から生活指導を必要とする場面が多いので、今後とも全職員で情報を共有し、同じ方向性を持って根気強く指導することが大切である。 ・週1回の学年会を通して共通理解が図られている。今後とも継続したい。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> より積極的な個別面談を通して生徒の学習意欲や生活習慣の向上をはかる指導をお願いします。 救急救命法の研修は、同時に生徒に機会を与えて欲しいと思います。 社会生活も経験されているので、心の豊かさが様々な場面で必要なのは実体験で経験されていると思います。充実した環境で勉強できるのはたいへんありがたい事だと思います。
		②基本的生活習慣の確立を図る。 ・挨拶の励行 ・規律・マナーの厳守	・日々の声かけや集会時での指導、登下校指導、放課後の巡回指導、交通安全教室を実施し、マナーや交通安全の意識高揚を図る。 ・授業開始と終了の号令・挨拶を定着させ、休憩時間との切替や授業に集中する習慣を身につけさせる。	3.0		・登下校指導、交通安全教室の実施など、全職員の協力のもと実施することができた。登下校時のマナーも改善されている。 ・代議委員の号令で授業の開始が徹底できている。今後とも継続したい。		
		③自主性・積極性のある生徒を育てる。 ・生徒会活動の活性化	・各種学校行事に対して積極的な参加を呼びかけ、生徒が自主的に企画・運営ができるように支援する。 (各種委員会を含む生徒会活動の活性化)	3.2		予餞会やクラスマッチ等において、生徒会が中心となった運営ができた。また、各種委員会ごとに具体的な目標を立てて実践してきており、概ね達成できた。今後とも継続したい。		
		④環境美化意識の高揚を図る。 ・清掃の徹底	・清掃の出欠を取り、学校生活の基本的な活動としての位置づけを図る。また、本年度も清掃分担表・監督表を作成し、職員の清掃指導の共通理解と共通実践に努める。 ・職員が率先垂範して環境美化に努め、学習環境の重要性やゴミの分別・持ち帰りの指導を行う。 ・事務部と連携して照明や網戸等、学習環境の改善に努める。	3.0		・クラスの人数など考慮して、清掃分担表・監督表を作成して清掃指導を実施できた。 ・週2回の清掃活動を概ね実施することができた。 ・美化委員会を招集してゴミ分別・持ち帰りを呼びかけて実施することができた。 ・事務部と連携して学習環境の改善に努めることができた。		
		⑤道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	・生徒情報交換会を年間6回開催し、生徒情報を共有するとともに職員との連携と組織的な対応を図る。 ・教育相談係とハートサポーターを中心に教育相談週間を実施し、生徒一人ひとりの変化を見逃さないように努める。 ・いじめに関する対応の強化として、いじめ不登校対策委員会を開催すると共に、職員への共通理解を図る。 ・特別支援を必要とする生徒に対して、関係諸機関との連携をはかり、効果的な支援を実践する。	3.2		・生徒情報交換会は全職員が参加して年6回開催した。情報共有と職員間の連携に大いに役立っている。 ・教育相談係とハートサポーター、生徒指導部、学級担任及び必要な関係諸機関と連携を取り、早期発見・対応につながっている。 ・いじめ不登校対策委員会は年間計画(全12回)に沿って実施できた。また、「学校いじめ防止基本方針」については、実態に即して一部改定を行った。 ・特別支援が必要とされる生徒への対応・支援等において職員間の情報の共有と、個に応じた支援の計画・実践ができた。		
		⑥健康安全教育を推進する。	・生徒全員に定期健康診断を受けさせる。 ・職員対象の救急救命法の研修会を早期に実施し緊急事態の対応に努める。 ・薬物乱用防止教室を実施して生徒に薬物乱用の危険性を認識させる。 ・防災訓練を実施して職員・生徒への意識を高める。特に、夜間の非常時に備えて、懐中電灯を使って避難することの重要性を生徒に意識させる。また、ストーブの安全な使用について、生徒への指導を徹底して行う。	3.0		・救急救命法の職員研修は、消防本部から救急隊員を講師に招いて早期に実施できた。 ・都城警察署に依頼して、危険ドラッグに関する講演を実施できた。 ・防災訓練は消火器使用・消火栓使用の動画を視聴させた上で、夜間の訓練を実施できた。 ・懐中電灯の定期的点検を行った。 ・使用規定を作成して事故防止に努めた。		
進路指導の充実	進路指導の充実	①キャリア教育を充実させることにより、進路意識の高揚を図る。	・4年間を見通した学年進行のプログラムを作成し、各学級担任と連携してLHR時に実施する。 ・都城市内の各種企業から講師を招聘し、円座型の形式で「職業講話」を実施する。 ・複数の専門学校から講師を招聘し、体験授業等とおして知見を広げ、将来の進路選択に寄与する。(1～3年生)	3.0	3.1	・学年担当ごとに各学級担任と連携し、LHRに年4回の進路プログラムを実施した。 ・職業講話を全3回に分け、地域福祉に着目した少人数規模の講話を実施した。 ・全校生徒を対象に8部門の専門学校にご協力いただき、授業体験を実施した。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> さらに充実を図ってください。 「人生の先輩と語る会」に参加させていただきました。真剣に自分の将来や目標に向かって頑張っている様子で、これからは不安なところは聞いて、豊かな人生が送れる様、素直な心で頑張ってください。 職業講話から短期的に職場体験もよいと思います。
		②進路情報の積極的な提供に努める。	「みやこんジョブガイド」や「高卒WEB求人」など求人情報や進学に関する情報を各クラスに適宜提供する。	3.2		・早期の段階で求人票の見方に関する講座を実施した。 ・オンライン校内求人掲載サービス Handy進路指導室を導入した。		
		③職場訪問を実施する。	夏季休業中に職場訪問を行い、生徒の就労状況と職場環境を把握し、学業との両立を支援する。また本校の魅力を発信して求人の開拓に努める。	3.0		・今年度も感染症対策のため、訪問ではなく電話による聞き取り調査を行った。 ・副担任が協力して聞き取りを行い、その情報を担任や進路部と共有した。		
		④教育振興会や関係機関との緊密な連携に努める。	PTA・教育振興会・同窓会・都城北ロータリークラブ・ふるさと育成協議会等と緊密な連携をはかり、各種の学校行事に積極的に参加してもらうようにする。	3.2		・本校教育振興会役員名簿を再点検し、各事業所への協力の依頼を行った。 ・都城北ロータリークラブと卒業予定者との懇談会を行った。 ・ふるさと育成協議会やサポステ、ハローワーク等の連携を深めることができた。		